

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

配線や取り付けをするとき

警告



発火、発煙、事故、けが、感電などを防ぐために…

本機は、DC 12V ⊖アース車専用です

DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には、使用できません。火災や故障の原因になります。



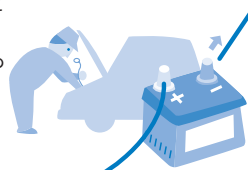
説明書に従って、配線や取り付けをする

作業は手順通りに正しく行ってください。火災や事故の原因になります。



作業中は、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。



作業前に車体の電気配線、パイプ類、タンクなどの位置を確認する

車体に穴を開ける場合は、電気配線などに干渉・接触しないようにし、また加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
芯線が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電の原因になります。

必ず、サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りを妨げないように引き回す

足やブレーキペダル・ステアリングなどに巻きつくと、事故やけがの原因になります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする

火災や感電、事故の原因になります。
※ ブレーキ、ライト、ホーン、ウinkerなど

フィルムアンテナは、取り付け許容範囲にはり付ける

視界不良による交通事故の原因になります。

配線や取り付けをするとき

警告

 **運転や視界を妨げる場所には、取り付けない**

交通事故の原因になります。

※ シフトレバーやブレーキペダル付近など



 **エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けない**

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

アース配線や取り付けに、車の保安部品※を使わない

制御不能や発火、事故の原因になります。

※ ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

 **分解や修理、改造をしない**

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

分解禁止

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できないことなどによる、事故や故障、火災の原因になります。

GPSアンテナや車載用カメラなどのコードは、車内へ引き込む

雨や洗車などの水が、車内に浸水すると、火災や感電の原因になります。

注意

 **配線や取り付け(取り外し)は、専門技術者に依頼する**

専門技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ナビゲーションユニットやGPSアンテナなどは、しっかり取り付ける

取り付け場所の汚れ(ワックスなど)はふき取り、確実に固定してください。再はり付けや汎用の両面テープなどは接着力が弱いため、ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。事故やけがの原因になります。

 **高温になる場所※などに取り付けない**

火災や故障の原因になります。

※ 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところ

コードを破損しない

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしない。車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回す。ドライバーなどの先で押し込まない。断線やショートによる火災や感電、事故の原因になります。

振動や傾き、強い曲面のある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、事故やけがの原因になります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙、発火、感電、故障の原因になります。

本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

ご使用になるとき

警告



発火、発煙、事故、けが、感電、破損などを防ぐために…

！ ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故やけがの原因になります。



！ 車載用カメラなどを使用時は、必ず目視による安全確認を行いながらゆっくり移動する

カメラの映像は、実際とは距離感が異なり、映す範囲にも限界があります。人や物にぶつかり、事故の原因になります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙、発火、故障の原因になります。

拡張子(MP3やWMA)は、正しく付ける

MP3ファイル以外のファイルに拡張子「MP3」を、WMAファイル以外のファイルに拡張子「WMA」を付けず、MP3/WMAファイルと誤認識して再生し、大きな雑音が出ることにより、耳の障害やスピーカーなどの破損の原因になります。

！ スピーカーは、本機の仕様に適合したもの[※]を使用する

火災や発煙・発火、故障の原因になります。
[※] 最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ω～8Ω。

医療用電気機器などへの影響を確認する

CN-HX900D CN-HW880D
本機は、無線機能を搭載しています。そのため、心臓ペースメーカーや他の医療用電気機器をご使用の場合には、各機器が電波による影響で誤動作しないか、該当の機器メーカーや販売店に必ず、ご確認ください。

！ 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。
交通事故の原因になります。



！ 大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因になります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
・お客様による修理は、絶対におやめください。

ご使用になるとき

警告

！ 故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。火災や感電、事故の原因になります。

リモコンを放置しない

転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げ、交通事故の原因になります。

メモリーカードやねじなどの小物部品は、乳幼児の近くに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

飲み物などがかからないようにご注意ください。金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因になります。

！ 雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない

接触禁止 落雷による感電のおそれがあります。

注意

！ リモコンの保管は、直射日光や高温の場所を避ける

ケースの変形や内部電池の破裂、液もれの原因になります。

洗車時は、車外のアンテナなどを外す

特に、自動洗車機(高圧水)による洗車時は、必ず外してください。脱落による事故やけがの原因になります。

注意

！ 本機を車載用以外には、使用しない

レジャーボートやアウトドアなどでの使用は、避けてください。発煙や発火、感電、けが、故障の原因になります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

特に、モニター画面の開閉や角度調整の際にご注意ください。手や指のけがの原因になります。

開いたモニターの上に物を置かない

CN-HW880D CN-HW850D
液晶ディスプレイ部の破損、または飲み物がこぼれることによる発煙・発火、感電、故障の原因になります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因になります。

電池は正しく使う

- ・⊕と⊖は、正しく入れる。
- ・使い切った電池は、すぐに交換する。
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- ・電池の保管時は、⊕・⊖端子をテープなどで絶縁する。

！ 指定以外の電池は、使用しない。

- ・新・旧電池や異種の電池を、混用しない。
 - ・充電、分解、加熱したり、火や水の中に入れない。
 - ・金属物と接触させない。
 - ・著しく温度が高くなる場所(直射日光が当たる、ヒーターの近く、窓を閉めきった車内、車のトランクの中など)に、電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
- 電池の破裂や液もれによる、火災やけが、周囲汚染の原因になります。

使用上のお願い



■ エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。(アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください)

■ 他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

■ 携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、雑音が出ることがあります。(その場合は、本機から離してください。)

■ 液晶ディスプレイについて

- 傷がつきやすいため、先端が固いもの(爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。
- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。(正常に動作しないおそれがあります)
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。(車用のサンシェードなどをお使いください)
- 低温になると、映像が出ない(出るのが遅い)、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度: 0℃~40℃)
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。(約1時間放置してからご使用ください)

■ 本体ボタンについて **CN-HX900D**

AUDIO MENU 現在地

- 手袋をつけてタッチすると、反応しない場合があります。(その場合は手袋を外してください)

■ 免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録ポイントの位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- メールなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・お客様または第三者が本機の使用を誤ったときや静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(地図データや基本プログラム、登録ポイントなど)が変化・消失した場合。
 - ・お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、または本製品の故障などにより、録音・録画されなかった場合、および録音されていたデータが変化・消失した場合。

大切な情報(登録ポイントなど)は、万一に備えて、SDメモリーカードに保存したり、メモなどをとっておくことをお勧めします。

■ 電池の取り扱い

■ 電池を廃棄する場合は

各自治体の指示(地域の条例)に従ってください。

■ 電池の液もれが発生した場合は

- 液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れる。
- 身体や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流す。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

■ 著作権について

- 音楽・静止画などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないで複製(録音・録画)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、当社はこれを十分尊重いたします。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いては、ライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については、米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。

■ 地上デジタル放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面、黒画面となり音声がなくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機に、本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像や音声などに不具合が生じる場合があります。(離してご使用ください)
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 国外で有料放送サービスを楽しむことは、禁止されています。
- 本機は、ARIB(電波産業会)規格の仕様です。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 地上アナログ放送には対応していません。
- 本機には、録画できません。

■ B-CASカードの取り扱いについて

- 使用許諾契約約款をよくお読みの上、カードを正しく挿入し、次のことをご守りください。
 - ・折り曲げたり、変形させない。
 - ・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
 - ・水をかけたり、ぬれた手で触らない。
 - ・IC(集積回路)部には手を触れない。
 - ・分解加工はしない。
 - ・高温になるところにカードを放置しない。(ダッシュボードの上など)
 - ・車から離れる際は、B-CASカードを本機から抜き、車内に残さない。(盗難防止のため)

B-CASカードについてのお問い合わせは

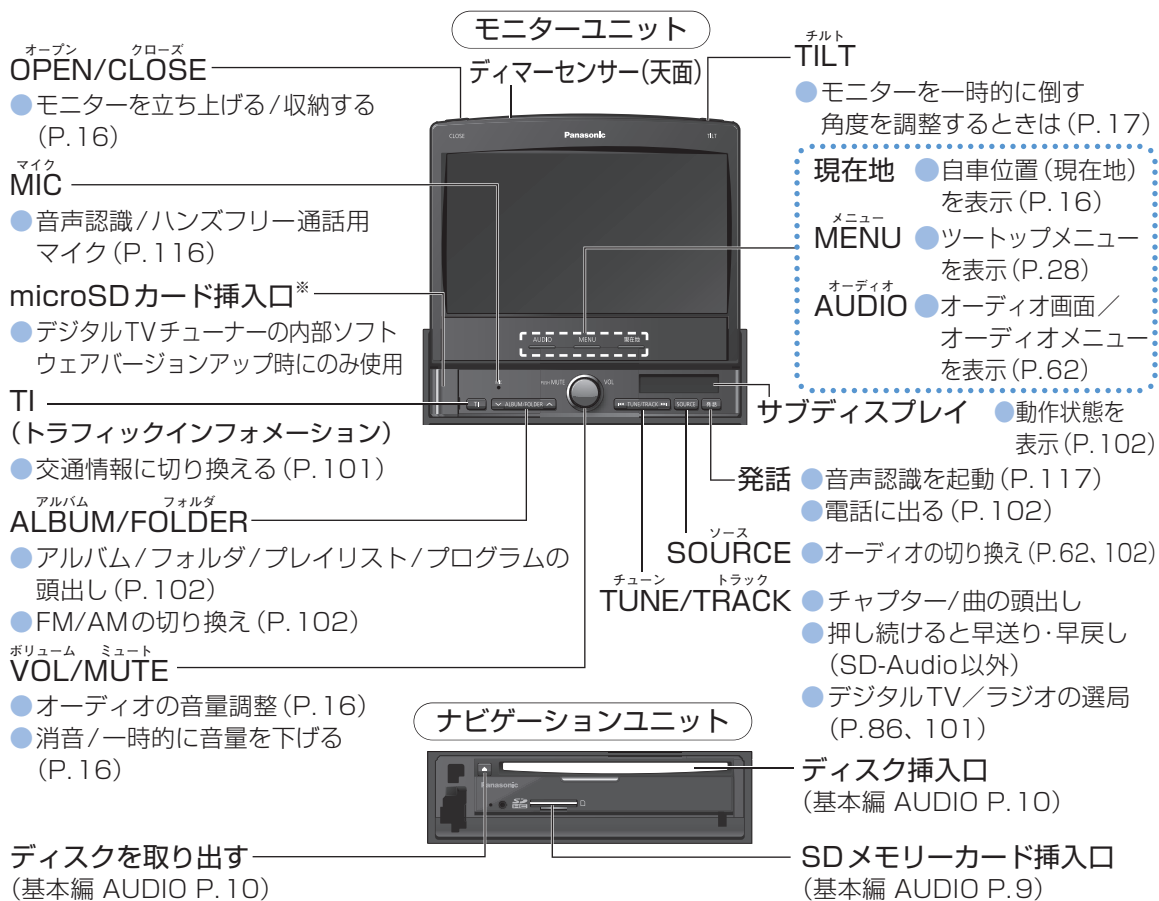
(株)ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000250

- カードの交換をされたときに生じる費用は、お客様のご負担となります。

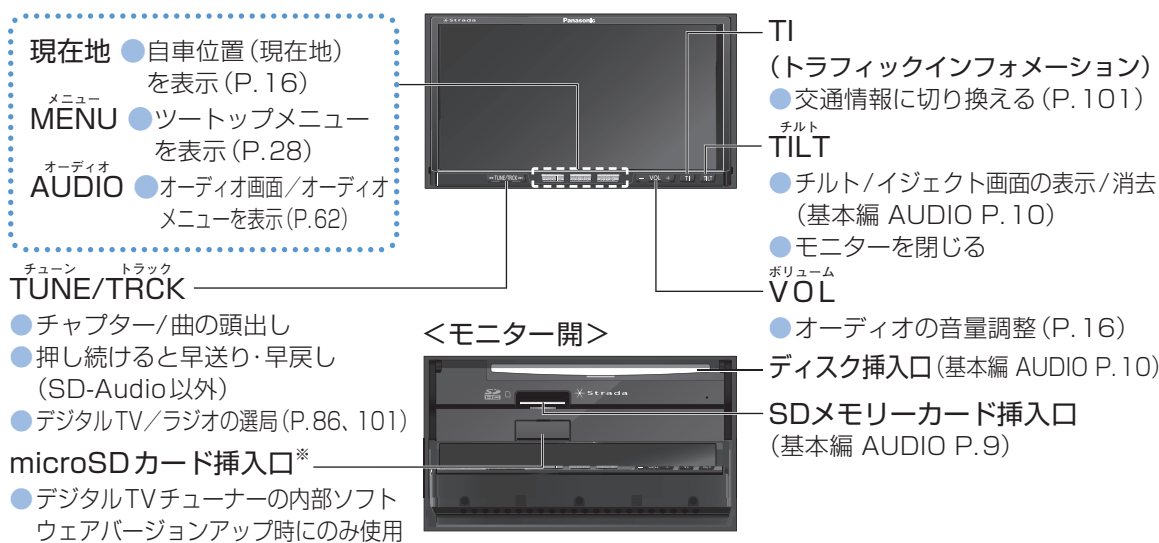
各部のなまえとはたらき

リモコンについては、取扱説明書 基本編 AUDIO/ハンズフリー編 P.6 をご覧ください。

CN-HX900D



CN-HW880D/CN-HW850D



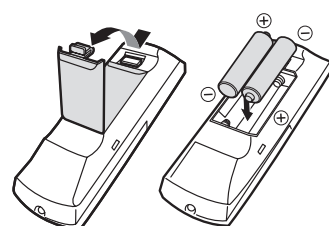
* microSDHCカードは使用できません。

リモコン・B-CASカード

ビーキャスト

リモコンについて

■ 電池の入れ方



- 1 ふたを開ける
- 2 電池を入れ、ふたを閉める

- 使用電池: 単3形乾電池 (2個)
- 電池寿命: 通常の使用状態 (常温時)で約5か月 (マンガン乾電池)
- 電池の取り扱いは、「安全上のご注意」と「使用上のお願い」をよくお読みください。 (P.11, 13)

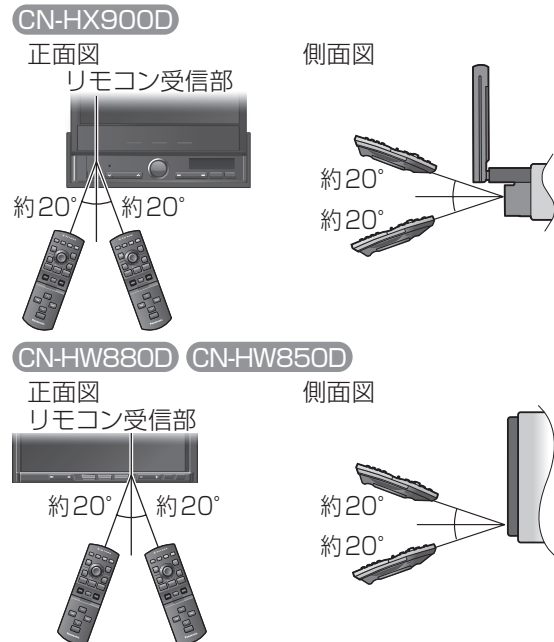
■ リモコンホルダーの取り付け方



- 付属の両面テープで、運転の妨げにならない位置に取り付ける。
- 直射日光の当たるダッシュボードの上などには、取り付けしないでください。高温により変形するおそれがあります。

■ リモコンの使用範囲について

リモコン受信部に対し、下図の範囲でご使用ください。



B-CASカードについて

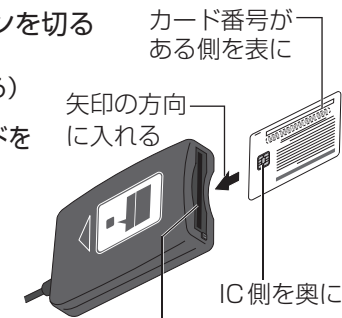
- 付属のB-CASカードの説明書および「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- 地上デジタル放送を視聴するには、付属のB-CASカードをB-CASカードリーダーに入れてください。

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

- 添付のハガキまたはウェブサイトから、B-CASカードのユーザー登録を行ってください。(ナビゲーションのユーザー登録とは別に必要です)
- B-CASカード裏面のB-CASカード番号は、お問い合わせの際に必要な場合があります。
- 付属のB-CASカードは、地上デジタル専用です。BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しないでください。

■ B-CASカードの入れ方

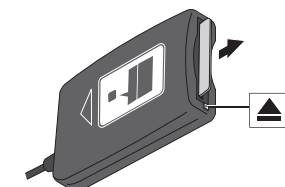
- 1 車のエンジンを切る (またはACCをOFFにする)
- 2 B-CASカードを入れる



- B-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因となります。
- 使用中は、抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ B-CASカードの取り出し方

- 1 エンジンを切った状態で、▲を押す



- B-CASカードにはICが組み込まれています。画面にメッセージが表示されたとき以外は、電源が入った状態で抜き差ししないでください。万が一してしまったときは、3秒以上たってから、「B-CASカードテスト」を行ってください。(P.93)

確認・調整する

電源を入れる

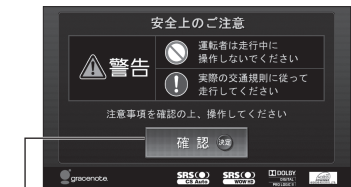
①車のエンジンをかける

- 本機の電源が入る。

CN-HX900D



- モニターが立ち上がる。



②確認 (リモコン→「決定」)

- 現在地画面(自車位置)を表示。
- 別売のETC車載器(CY-ET909D)を接続すると、ETCカードが有効期限切れのときお知らせします。(P.122)

お願い

- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。(システムの起動準備中のため)

お知らせ

- 手順①でパスワード認証画面が表示されたときは(P.22)
- 手順①の後、約10秒間操作しないと、警告画面は消えます。
- オーディオ画面が表示されたときは、**現在地**を押すと、ナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。

■画面をOFFにするとき

ツートップメニューから(P.28)

画面OFF

(**AUDIO** **MENU** **現在地**のいずれかを押し、画面を表示)

- 「画面OFF」の設定(P.130)により、動作が変わります。
- 下記の場合、画面OFFが解除されます。

- デジタルテレビの緊急警報放送(EWS)を受信したとき(P.89)
- ハンズフリー接続時に電話がかかってきたとき

CN-HX900D

CN-HW880D

自車位置を確認する

初めて電源を入れたときやバッテリーを外したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。見通しの良い場所で下記の操作を行ってください。



①GPSマークを確認する

- GPSマークが表示されないときや、点滅が継続するときは、GPS受信状態を確認してください。(P.18)

②現在地 (リモコン→「現在地」)

- 見通しのよい道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

音量を調整する

オーディオの音量を調整する

CN-HX900D



■一時的に音を消すとき(ミュート)

- 押す(本体操作のみ) もう一度押すと、解除

お知らせ

- ミュートボタンの動作を、一時的に音量を下げる設定に切り換えるときは、「ミュートボタン」(P.130)を「ATT」に設定してください。
- ミュート時は、画面に「MUTE」(「ATT」設定時は「ATT」)が表示されます。
- ナビゲーションの音声案内なども、ミュートされます。
- ハンズフリーの音声(通話音、発着信音)は、ミュートされません。

CN-HW880D CN-HW850D



小さく (押し続けると、3ステップずつ小さくなり続ける*)

大きく (押し続けると、1ステップずつ大きくなり続ける)

*ハンズフリーの音量のみ、1ステップずつ。

CN-HW880D

ナビゲーションの音量を調整する

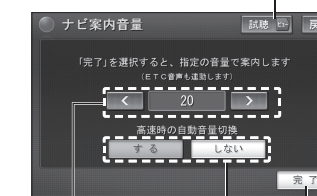
メニュー画面「情報」から(P.28)



①ナビ案内音量

- メニュー画面「データ」/「設定」(P.29)からも選べます。

- 音量を確認する (リモコン→「ビュー」)



②音量を調整する(0~40)

- 時速80km以上で走行時は、音声案内を自動で5ステップ大きくする(音量「0」のとき以外) **する**▶完了 (「しない」を選ぶと、解除)

お知らせ

- 音声案内を出力するスピーカーを設定する時(P.21)
- ナビゲーション音声やナビ操作音は、**○** や **-VOL+** で調整できません。

モニターの取り扱いについて

- エンジンを切ると全閉状態に戻ります。**CN-HW880D CN-HW850D**
- 次回モニター起動時には今回の調整角度までモニターが開きます。(CN-HX900Dは「モニター自動開閉」(P.130)を「する」に設定時のみ)
- 画面の明るさ調整は(P.127)

お願い

- モニターを無理に動かしたり、動作を妨げないでください。また、モニターに強い衝撃を与えないでください。(荷物の出し入れ時など)
- モニター開閉時に手や指をはさまないように気をつけてください。
- モニターの角度を傾けると、ディスク挿入口が見える場合がありますが、ディスクは必ずモニターを開いて挿入してください。(本機の故障やディスクに傷がつく原因になります)**CN-HW880D CN-HW850D**

モーターアンテナを操作する

(モーターアンテナ車のみ)

準備: ラジオアンテナ設定(P.20)を「モーターアンテナ」にする。

■アンテナを上げるとき(受信する)

ツートップメニューから(P.28)

↑上げる (リモコン→「ビュー」)



■アンテナを下げるとき(受信しない、天井が低い場合など)

↓下げる (リモコン→「ビュー」)



お知らせ

- FM VICS/FM多重放送/ラジオを受信するためには、通常はモーターアンテナを上げておいてください。
- 電源を切ってもモーターアンテナの状態は記憶されます。アンテナを上げた状態で電源を切るといったん収納され、次回起動時に自動的に上がります。

モニターの角度を調整する

CN-HX900D

①TILT 1秒以上押す



②角度を調整する(55°~95°)

③TILT

- 約10秒間操作しないと、調整を終了します。

CN-HW880D CN-HW850D
チルト/イジェクト画面



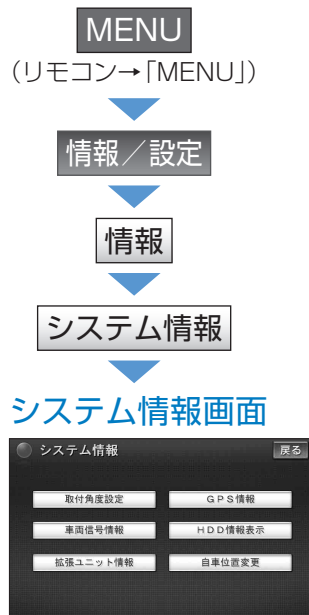
①TILT ②小~大 角度を調整する

- 全閉状態にするには **小**

CLOSE **大**

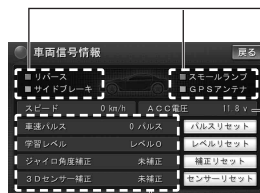
③TILT (または、AUDIO/MENU/現在地)

取り付け・配線を確認する



車両信号を確認する※1

1 車両信号情報



「リバース」 シフトレバーをR(リバース)に入れたら、ON表示に変わりますか？
 「サイドブレーキ」 サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
 「スマートランプ」 車のスマートランプが点灯すると、ON表示に変わりますか？
 「GPSアンテナ」 ON表示になっていますか？

「スピード」 自車の速度を表示します。
 「ACC電圧」 約12V(11V~16V)になっていますか？

「車速パルス」 リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
 「学習レベル」 リセットすると「レベル0」になります。

走行後、数字が変化していますか？(レベル4が最大)
 「ジャイロ角度補正」 リセットすると「未補正」になります。走行後^{※2}、「補正完」になっていますか？
 「3Dセンサー補正」 リセットすると「未補正」になります。走行後^{※2}、「補正完」になっていますか？

お知らせ

- 次の場合にも、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした

お知らせ

- 渋滞・停車を頻繁に繰り返したり、右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
- 車種によっては、スピードを上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

拡張ユニットの取り付けを確認する※1

1 拡張ユニット情報



「SDメモリーカード」 別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
 「ビーコンユニット」 別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
 「ETCユニット」 別売のETC車載器(CY-ET909D/KD、CY-ET809Dなど)を接続している場合、ON表示になっていますか？
 「iPod」 市販のiPodを接続している場合、ON表示になっていますか？

GPSの受信状態を確認する

1 GPS情報



見通しの良い場所で、受信状態を確認してください。
 ● 3つ以上の衛星番号が受信中になっていることと、緯度経度が表示されていることを確認してください。

お願い

- 常に受信中になっていない場合は、GPSアンテナの接続および取り付け位置を確認してください。

HDDの状態を確認する

1 HDD情報表示



HDDの空き領域などを知りたいときに、確認してください。

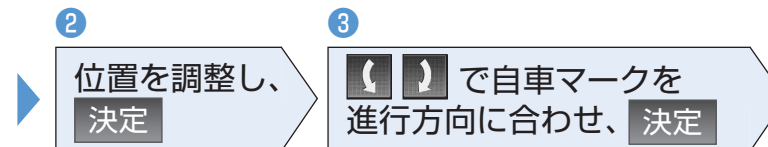
「ユーザー領域」 ハードディスクのユーザー領域[曲を保存(録音)できる領域]の総容量を表示します。
 「使用領域」 曲の保存(録音)に使用した領域の容量を表示します。
 「空き領域」 曲の保存(録音)に使用していない領域の容量を表示します。
 空き領域が少ないときは、不要な曲を消去してください。(P.73)
 「地図データ」 使用している地図データのバージョンを表示します。
 「Gracenoteデータベース Ver.」 本機に収録されているGracenoteデータベースのバージョンを表示します。
 「Gracenoteデータベース 更新Ver.」 更新したGracenoteデータベースのバージョンを表示します。

自車の位置を調整する

自車位置と地図上の位置が異なるときに調整してください。

- 通常、この操作は必要ありません。

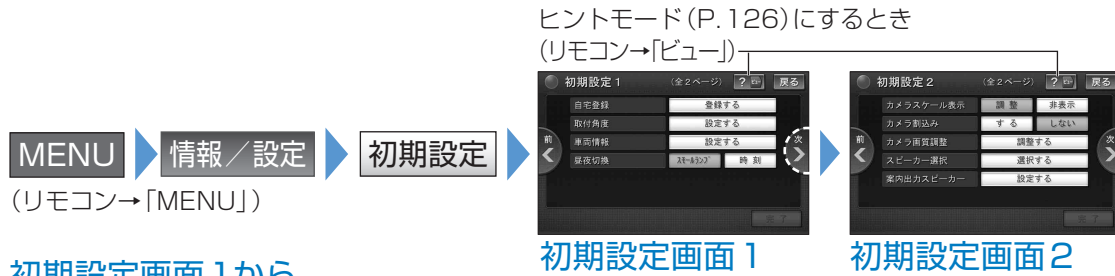
1 自車位置変更



※1 詳しくは取付説明書をご覧ください。
 ※2 あらかじめ自車位置が正しく補正されている必要があります。(P.16)

初期設定をする

(太字はお買い上げ時の設定です)



初期設定画面1から

自宅登録をする※1

- 登録する
- 自宅の探し方を選ぶ
 - 現在地周辺から登録 現在地周辺の地図から探す
 - 住所から登録 住所を入力して探す (P.34「住所で探す」の手順②～④)
- 自宅の場所を確認し、決定

■解除するとき (P.53)

取り付け角度を設定する※2

- 設定する
- 取り付け角度を設定する
- 完了

- 調整範囲(5°ステップ)^{※4}
 GN-HX900D -30°～+40°
 GN-HW880D 0°～+40°
 GN-HW850D 0°～+40°
- 詳しくは取付説明書をご覧ください。

車両情報を設定する※3

- 設定する
- 各項目を設定する
- 完了

- 車種 設定する ▶ 車種を設定する (ナンバープレートから)
 軽自動車 [4*][5*][4**][5**](黄色)
 小型車両 [4*][5*][6*][7*][4**][5**][6**][7**]
 普通車両 [3*][3**]
 大型車両 [1*][1**]
 特定車両 小型車・普通車の [8*][8**]
 大型特定 大型車の [8*][8**]
- 長さ^{※4} : 450cm～600cm (範囲外の場合 [450cm以下/600cm以上] を選ぶ)
- 幅^{※4} : 160cm～250cm (範囲外の場合 [160cm以下/250cm以上] を選ぶ)
- 高さ^{※4} : 150cm～300cm (範囲外の場合 [150cm以下/300cm以上] を選ぶ)
- ラジオアンテナ 設定する
 ▶ 固定アンテナ / 手動アンテナ / モーターアンテナ

● ルートが設定されている場合は車両情報を設定できません。ルートを消去してください。行き先メニュー画面<主な方法> (P.29)で「目的地を消す」▶「はい」を選んでください。

昼夜切り換えを設定する

- 設定する
- 昼画面と夜画面の切り換え方を選ぶ
- 完了

- [スモールランプ] スモールランプを点灯すると夜画面、消灯すると昼画面に切り換わります
- [時刻] 日中は昼画面、夜間は夜画面に切り換わります (切り換わる時刻は、月によって異なる)

初期設定画面2から

カメラスケール表示を設定する※5

準備: サイドブレーキをしっかりと引き、シフトレバーをリバース(R)に入れてください。

- 調整を選ぶ
- 調整を選んだときのみ
カメラスケールを調整し (タッチ操作のみ) 完了
- 完了

右側の角度 <> 幅 <> カメラスケールの幅 角度連動 左右のカメラスケールを連動して調整
左側の角度 <> 中心 <> カメラスケールの中心 初期状態 お買い上げ時の設定に戻す

カメラ割り込みを設定する※5

- する / しないを選ぶ
- 完了

カメラ画質調整する※5

準備: サイドブレーキをしっかりと引き、シフトレバーをリバース(R)に入れてください。

- 調整する
- 各項目を調整する

- 明るさ 明 / 暗
- コントラスト 強 / 弱
- 色あい 緑 / 赤
- 色の濃さ 濃 / 淡

スピーカー選択をする

- 選択する
- スピーカーを選ぶ
- 完了

- 下記の組み合わせはできません。
 GN-HX900D
 フロント: 16cm以上(大型スピーカー) / 16cm未満(小型スピーカー) フロント: 16cm未満
 センター GN-HX900D: 16cm以上(大型スピーカー) / 16cm未満(小型スピーカー) / なし センター: 16cm以上
 リヤ: 16cm以上(大型スピーカー) / 16cm未満(小型スピーカー) / なし リヤ: 16cm未満 またはなし
 サブウーファー: あり / なし サブウーファー: なし
- 説明を表示するとき [説明] (リモコン→「ビュー」)

案内出力スピーカーを設定する

- 設定する
- 音声案内を出力するスピーカーを選ぶ
- 完了

右前 / 右前+左前 / 左前

■音声案内を出力するスピーカーを確認するとき [試験] (リモコン→「ビュー」)

※1 登録すると、自宅までのルートを簡単に作れます。
 ● 自宅が登録済みの場合、今までの自宅は登録ポイントから消去されます。
 ● 登録した自宅は、マークで表示されます。

※2 設定すると、SALAS(P.156)による立体駐車場での自転車位置精度が向上します。
 ● システム情報画面(P.18)から「取付角度設定」を選んで設定できます。

※3 設定すると、車両情報をVICS情報と参照し、交通情報を基にしたルート作成に役立ちます。また高速道路などの料金表示に反映させたり、条件に合った提携駐車場の検索(P.43)に役立ちます。

● モーターアンテナ車は、ラジオアンテナ設定を必ず「モーターアンテナ」にしてください。「固定アンテナ/手動アンテナ」に設定すると、アンテナが上がったままとなり、立体駐車場など天井の低い場所に入るときにアンテナを破損する原因になります。

※4 お買い上げ時は未設定です。[] で選んでください。(リモコン→「◀」「▶」)

※5 別売のマルチカメラシステム(CY-MCRS 70KDなど)を接続している場合に設定してください。

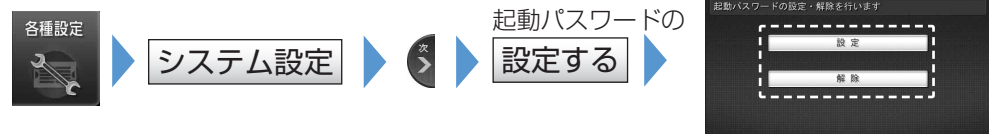
確認・準備 初期設定をする

起動パスワードを設定する

万一本機が盗難にあった場合でも、起動パスワードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

- 本機を取り付けた後、しばらく走行してからパスワードを設定してください。未走行の場合はパスワードを設定できません。
- バッテリー交換時など、バッテリーコードが外された後に本機を起動すると、パスワード認証画面が表示されます。バッテリーコードが外されない限り、通常起動時にはパスワードを入力する必要はありません。
- パスワードは、忘れないようにメモしておいてください。P.171の「起動パスワードメモ欄」をコピーしてご使用ください。万一忘れた場合は、お近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
- 他人に譲渡される場合は、起動パスワードの設定を解除してください。
- 文字入力のしかたは (P.23)

メニュー画面「設定」から (P.29)



設定する

- 設定
- はい
- 現在のパスワードを入力し、完了
- ヒントの設定方法を選ぶ
- パスワードを入力し、完了
- ヒントとパスワードを確認し、完了

- パスワードを初めて設定するときは、手順④へ
- 「マルチワードで設定」を選んだとき
ヒントを入力し、完了
・全角12文字(半角24文字)まで
- 「固定文より設定」を選んだとき
ヒントを選ぶ
- 全角12文字(半角24文字)まで。

解除する

- 解除
- はい
- パスワードを入力し、完了

起動時にパスワード認証画面が表示されたら

- ① ヒントを確認する
パスワード認証画面
パスワード認証画面のヒント
- ② パスワードを入力し、完了
- ③ 確認

- ロックが解除され、本機が起動します。

文字入力のしかた



お知らせ

- 入力できる文字の種類や字数は、入力する項目や機能によって異なります。

ひらがな・漢字を入力する

- かな
- 入力する (例: やまだ)

- ひらがな(やまだ)にするととき [無変換]
- 漢字(山田)にするととき
変換▶変換したい漢字を選ぶ
●変換する文字の範囲を変えるとき [◀] [▶] (リモコン→「青」「赤」)
- 変換完了するととき [全確定] (リモコン→「ビュー」)

カタカナを入力する

- カナ
- 半角/全角を選ぶ
- 入力する

- 半角を選ぶと、全角が表示されます。

英数字を入力する

- 英数字
- 大文字/小文字を選ぶ
- 半角/全角を選ぶ
- 入力する

- 大文字を選ぶと、小文字が表示されます。
- 半角を選ぶと、全角が表示されます。

数字・記号を入力する

- 数記号
- 半角/全角を選ぶ
- 入力する

- 半角を選ぶと、全角が表示されます。
- ページを切り換えるとき [↑] [↓]

■スペース(空白)を入れるとき [スペース]

■一文字消去するとき [修正]

■地上デジタルTVで文字を入力するとき
地上デジタルTVの入力画面



- 基本的な入力方法は、上記と同じです。
- 入力できる字数は、最大で40文字までです。(番組によっては、すべての字数を表示できないことがあります)
- 漢字は入力できません。

文字入力のしかた
起動パスワードを設定する

入力がすべて終わったら、完了

動かす

<スクロール>
<3Dの地図モード画面の回転>

■スクロールするとき

① 画面をタッチ

- タッチした地点が画面の中心になり、 (カーソル)が表示されます。(地図モード画面)



② スクロールしたい方向をしばらくタッチ

- タッチしている間、スクロールします。
- の近くをタッチするとゆっくり、遠くをタッチすると速くスクロール。



お知らせ

- リモコンで操作する場合は、ジョイスティックを行きたい方向に倒してください。
- 地図モード画面で地図の向き・縮尺を切り換えても、**現在地** を押すと、元の設定に戻ります。
- 市街地図(基本編 NAVI P.9)では、走行中にスクロールできません。

■3Dの地図モード画面を回転させたいとき(タッチ操作のみ)

3Dの地図をスクロールして、

● 地図が時計回りに回転

● 地図が反時計回りに回転

お知らせ

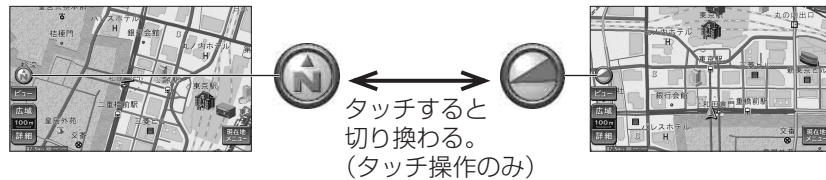
● 走行中は回転できません。

向きを変える

<ノースアップ・ヘディングアップ>

■ノースアップ(北が上)

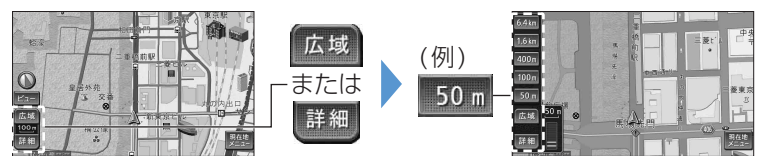
■ヘディングアップ(進行方向が上)



お知らせ

- 地図モード画面表示中は、ノースアップからヘディングアップに切り換えできません。
- 3D画面は、ノースアップに切り換えできません。

縮尺を切り換える*



- タッチし続けると、ズームイン/アウトする(走行中は切り換わらない)(リモコン→「広域」「詳細」)
- ※ 「縮尺切替メッセージ表示」(P.127)を「する」にすると、切り換えた縮尺に応じてメッセージを表示します。

2画面に切り換える

- ビュー**
(リモコン→「ビュー」)
- 地図表示変更メニュー**
 - 左が2Dの2画面にするとき
 - 左が3Dの2画面にするとき
 - 右画面を3Dにするとき
 - 右画面を2Dに戻るとき
 - 1画面に切り換えるとき
 または

お知らせ

- 左画面は、1画面のときと同じ操作ができます。
- 右画面は、縮尺と向きのみ切り換えできます。

3D画面の傾きを調整する

地図表示変更メニューから(上記)

- 3D調整**
(リモコン→「▲」)
- 傾きを小さくするとき**
(リモコン→「▼」)
- 傾きを大きくするとき**
(リモコン→「▲」)
- 決定**

お知らせ

- 傾きを調整できるのは、3D画面のみです。

都市高マップに切り換える

地図表示変更メニューから (P.25)

1 都市高マップ表示



お知らせ

- ルート案内中に都市高速を走行中のみ表示できます。
- 縮尺200m~1.6km以外の地図が表示されているときは、表示できません。
- 2画面表示のとき、左画面が都市高マップになります。

都市高マップを解除するとき

- 都市高マップ表示 もう一度選択する
 - 広域地図 (基本編 NAVI P.9) に切り換わります。

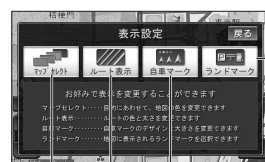
地図表示変更メニューから (P.25)

1 表示設定



ハイウェイマップやルートガイドなどの案内図を表示する (基本編 NAVI P.6) ナビゲーション画面に映像画面を表示する (P.103)

2 設定したい項目を選ぶ



表示したいランドマーク^{*1}を選ぶ (1つずつ、最大5つ)



選択中のランドマークを全て解除

他のマークを表示するときは、「その他」からマークを5つまで選び、「完了」

自転車マークのデザインと大きさ^{*2}を選び、「完了」

ルートの色と太さを選び、「完了」

地図の配色を選び、「完了」

クルージング	ルートが見やすい配色
トラフィック	VICS 情報が見やすい配色
タウン	街区を色分けし、市街情報を際立たせる配色
トワイライト	夕暮れや夜間、トンネル内などで見やすい配色

*1 地図の中心から近い順に半径約10km以内のランドマーク (5種類まで) を最大200件表示します。(お買い上げ時は未設定です)

*2 縮尺1.6 km以上では、自転車マークの大きさは「小」で表示されます。

表示設定を変更する

地図上の VICS 情報の表示切り換え

地図表示変更メニューから (P.25)

1 VICS表示切換



2 表示する道路の種類を選ぶ



VICS 情報を表示しない
一般道路の情報のみ表示
高速道路の情報のみ表示

高速道路と、一般道路の情報を表示

現在地メニュー

1 現在地 (リモコン → 「現在地」)



現在地メニュー (リモコン → 「決定」)

VICS 音声案内を出力^{*3}



現在地を中心に周辺施設を検索
現在地をポイントとして登録
ルート確認画面を表示^{*4}

設定ルートに沿って地図画面をスクロール^{*4}再探索メニューを表示^{*4}

*3 情報がある場合のみ
*4 ルート案内中のみ

地点メニュー

1 地図画面をタッチ (リモコン → ジョイスティックを傾ける)



地点メニュー (リモコン → 「決定」)

カーソル位置を行き先 (目的地) に設定し、ルート探索

カーソル位置を経由地 (ルート設定されている場合のみ) に設定し、ルート探索 (ルート設定されている場合のみ)

カーソルの位置をポイントとして登録

カーソル位置を中心に周辺施設を検索施設の情報を表示 (ランドマークにカーソルがある場合のみ)

メニュー画面の基本操作

大きなアイコンで、多機能なのにかんたん操作。

MENU を押すと、
ツートップメニューが表示されます。

ツートップメニュー

オーディオメニュー(P.62)



行き先メニュー(P.32)

<主な方法>



<他の方法>



※1 ● CN-HW850Dでは表示されません。
● CN-HW880Dではネットワークカメラへの接続ボタンとなります。

※2 お知らせ
CLUB Strada:
サービスのお知らせ
DEMO: デモを表示

LINK(P.114)



情報



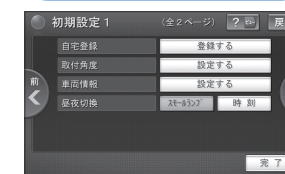
データ



設定



初期設定(P.20)



■ ひとつ前の画面に戻るとき
画面右上の「戻る」をタッチ
(リモコン→「戻る」)

ツートップメニューを編集する

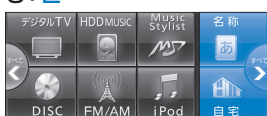
ツートップメニューに表示する項目を、よく使う項目に変更したり、レイアウトを変更したりすることができます。

- 下記のように、レイアウトを変更できます。
(AUDIOショートカット: 行き先ショートカット)

4:4



6:2



2:6



3:3



お知らせ

- 選んだ項目の順番は、左から右へ、上から下へ並びます。

(画面例 6:2を選んだ場合)



- 「行き先メニュー<他の方法>」の項目は、選べません。

表示させる項目を変更する

ツートップメニューから

- 1 または
 - 2 よく使うボタンを設定する
 - 3 設定開始
 - 4 ショートカットに設定する項目を選び、設定する
- 行き先ショートカットを変更するときは1を、AUDIOショートカットを変更するときは2を選んでください。
 - ツートップメニュー編集画面を表示。
 - レイアウトに設定されている数だけ項目を選んでください。
 - 同じ項目をもう一度選ぶと、その項目は解除されます。

レイアウトを変更する

上記手順③から

- 1 レイアウト選択から変更したいレイアウトを選ぶ
 - 2 ショートカットに設定する項目を選び、設定する
 - 3 ショートカットに設定する項目を選び、設定する
- レイアウトに設定されている数だけ項目を選んでください。
 - 同じ項目をもう一度選ぶと、その項目は解除されます。